

第1章 レポート作成その前に ～テーマに関する基礎知識を手に入れよう～

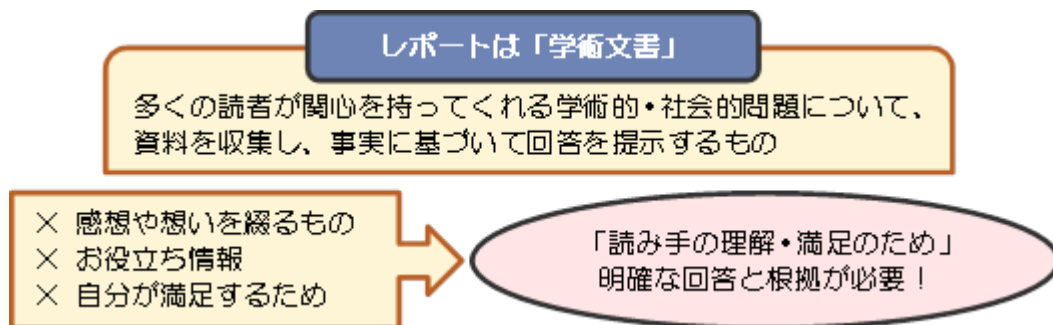
■ 本章の目的

良いレポートを作成するためには、事前の準備が大切です。この章では、その準備としてレポートの作成手順と、その手順における情報探索の必要性を学習し、レポート作成のスタートであるテーマ設定に向けて基礎知識や用語の調べ方をマスターしましょう。

1. レポートと情報探索

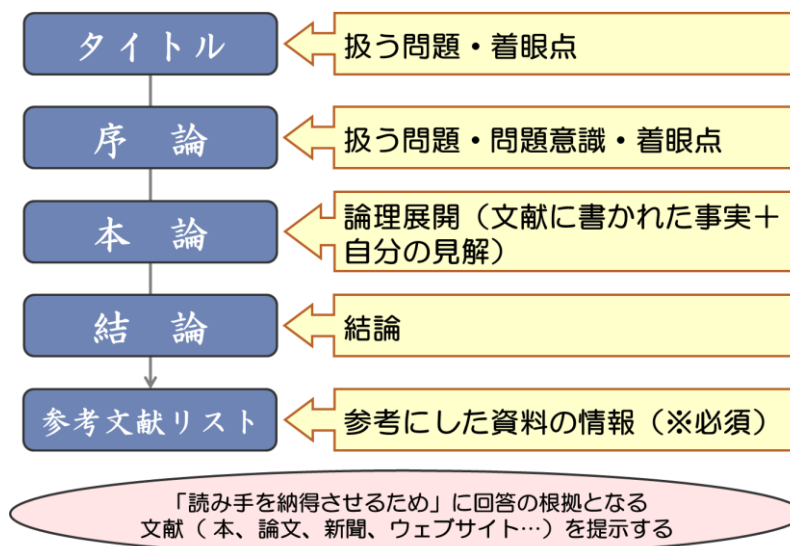
1.1 レポートとは？

まずはレポートの定義と目的を確認しましょう。レポートの作成にあたっては、そもそもレポートとは何か？何のために作成するのか？を常に意識することが重要です。



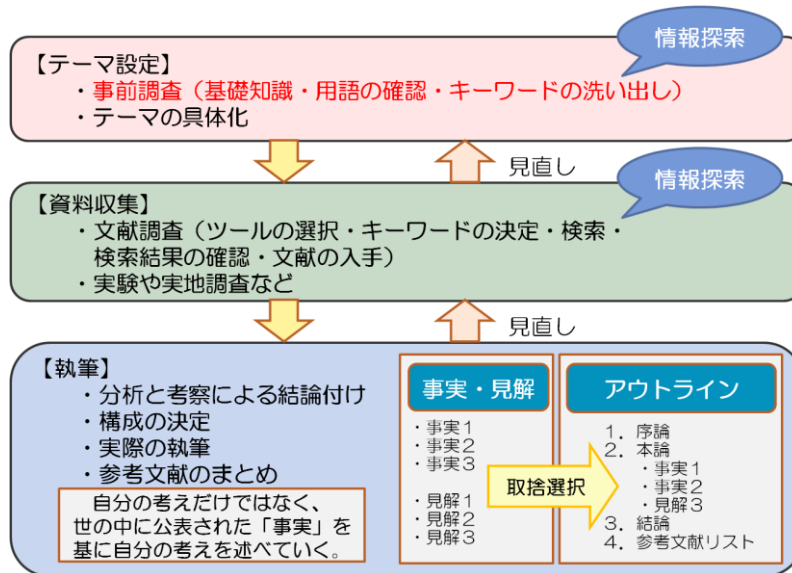
1.2 レポートの構成

レポートの基本的な構成は以下の通りです。レポートの読み手を意識し、読み手を納得させるために、参考文献リストは必ず記載しましょう。参考文献リストがないと、レポートの信頼性や説得力は大きく損なわれてしまいます。注意してください。



1.3 レポートの作成手順

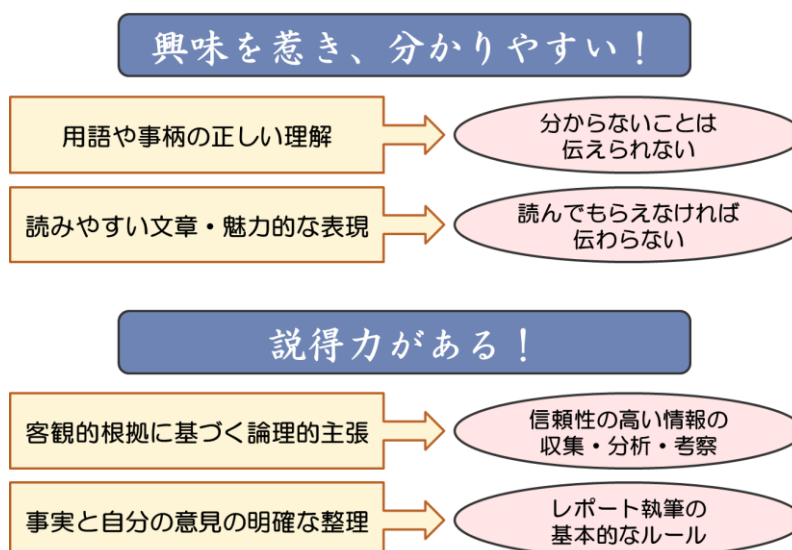
レポートの主な作成手順は以下の通りです。いきなり執筆はせず、テーマを吟味し、資料を読み込んで十分に考察しましょう。良いレポートを作成するためには、テーマ設定やその回答の根拠となる資料の収集の際に、丁寧な情報探索を行うことが重要です。



なお、この手順は、一方通行ではありません。随時試行錯誤を繰り返し、各段階を行き来することで、レポートの質を高めることができます。

1.4 良いレポートとは？

良いレポートの条件は、大きく分けて以下の2つです。読み手を意識することが、重要なポイントになります。

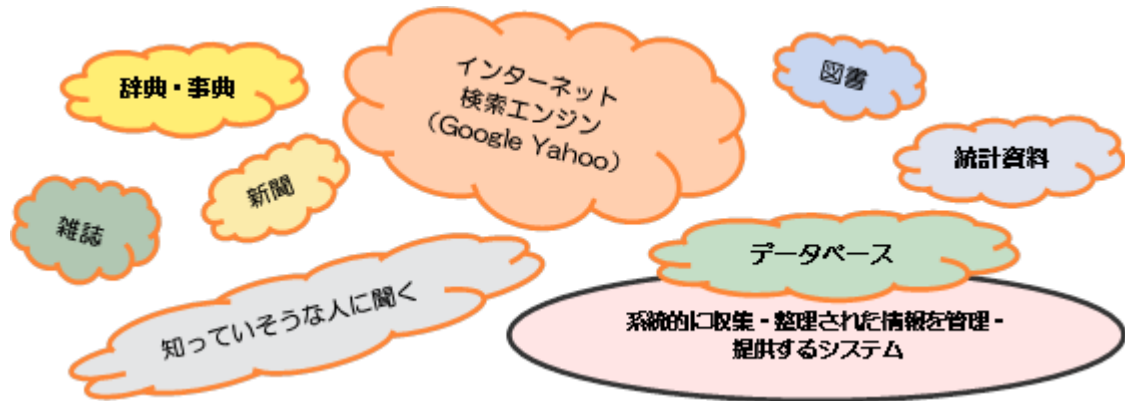


読み手に読んでもらい、あなたの主張が読み手に確実に伝わってこそ、良いレポートといえます。そのために必要な知識の習得、読み手への配慮、明確な根拠の収集、ルールの遵守は、怠らないようにしてください。

2. 基礎知識と用語の調べ方

2.1 事前調査の手順

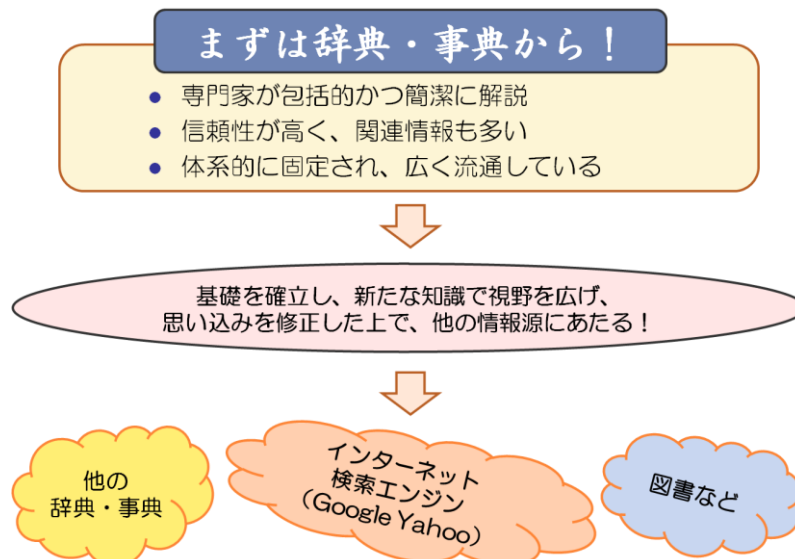
何かを調べるとき、その手段・調べる道具（ツール）は様々あります。



以下は、代表的なツールの特徴をまとめた表です。どれか1つが優れているわけではなく、それぞれに長所・短所がありますので、特徴を良く理解し、状況に応じて使い分ける必要があります。

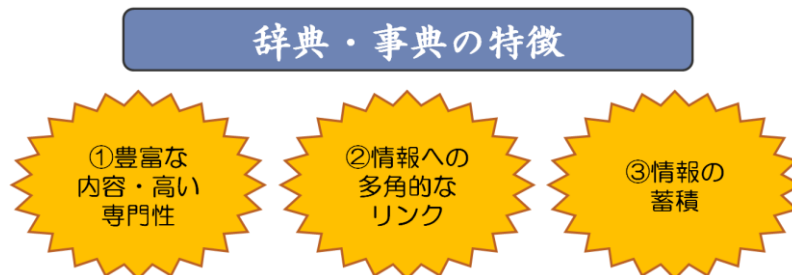
ツール 特徴	辞典・事典 (冊子体)	ウェブ版 百科事典	ウィキペディア	インターネット
信頼性	高い	高い	様々	様々
更新頻度	低い	定期的	様々	様々
分野	学術的	学術的	様々	様々
過去の参照	可能	不可	可能	一部可能
利便性	購入 図書館蔵書	有料 (学内は無料)	無料	無料

レポートを作成するにあたっては、最初に自分の基礎知識を信頼性の高い学術的な情報で補強する必要があります。まずは辞典・事典を使いましょう。



2.2 辞典・事典の特徴

辞典・事典を使いこなすために、その特徴について理解しましょう。ここでは以下の3つ観点から解説していきます。



なお、「辞典」も「事典」も同じく「じてん」と読みますが、実は意味は異なります。純粋な言葉の意味を調べたいのか、事柄の背景や現状を調べたいのかなど、目的によって使用する「じてん」は異なりますので、注意してみてください。



(1) 豊富な内容・高い専門性

以下は、主な辞典・事典を表にまとめたものです。ありとあらゆる分野について幅広い知識を集約した「百科事典」や、人名や地名、あるいは特定の分野に特化し高い専門性を有する「人名事典」「地名事典」「専門事典」のように様々な種類があり、インターネットでは探すことができない情報も数多く収録しています。

種類	例
百科事典	『日本大百科全書』 『ブリタニカ国際大百科事典』 『世界大百科事典』 『The Encyclopedia Americana』 『化石の百科事典』 『鉄道の百科事典』 『ストレス百科事典』 …
人名事典	明治期の政治家について調べる → 『図説明治人物事典』 Tim Cook氏の略歴を調べる → 『Who's who in America』 オリンピックの金メダリストを調べる → 『世界スポーツ人名事典』
地名事典	中国の地名を調べる → 『精選中国地名辞典』 平安時代の地名と語源について調べる → 『古代地名語源辞典』 バナナの叩き売り発祥の地を調べる → 『日本全国 発祥の地事典』
専門事典	『相撲大事典』 『絶滅危惧の昆虫事典』 『まちづくり事典』 『エアロビクス事典』 『日本職人ことば事典』 『アニメ作品事典』 『ぜんぶわかる筋肉・関節の動きとしくみ事典』 …

分からないことやあやふやなことは、読み手に伝えることができません。すでに知っていることも、誤解や思い込みという可能性もあります。読み手に正確な情報を伝えるために、まずは興味のある辞典・事典を「読み込ん」で、揺るぎない基礎を築きましょう。

(2)情報への多角的なリンク

百科事典には、収録されている字句や事項をまとめて配列した「索引」があり、この「索引」を使うことでその非常に幅広い収録内容をより効率的に活用することができます。

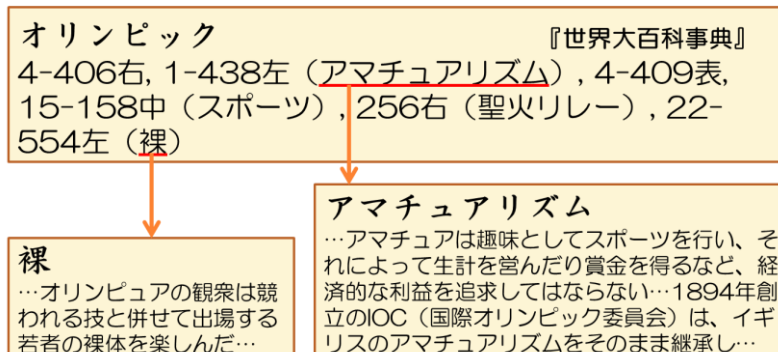


写真：日本大百科全書（小学館刊）

百科事典 = 本誌（数十冊） + 索引（数冊）

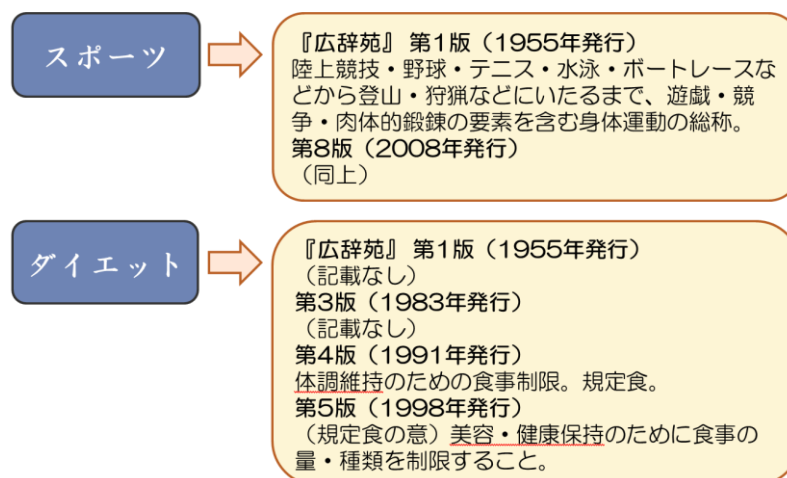
索引とは、百科事典の中の字句や事項をまとめて配列し、掲載ページを容易に探し出すためのもの。

以下は『世界大百科事典』の索引の例です。索引によって複数の事柄が結びついていることが分かります。索引を効果的に使うことで見出しだけでは知り得なかったキーワードの発見や、複数の観点を知ることにより事柄の多角的な理解が可能となりますので、是非手にとって知識を深めてみましょう。



(3)情報の蓄積

以下は国語辞典である『広辞苑』で「スポーツ」と「ダイエット」という言葉を参照した例です。「スポーツ」には変化がない一方、「ダイエット」については大きな変遷が見られます。辞典・事典は一度発行されると、冊子体であるが故にその情報がそのまま固定され蓄積されます。従って、発行年の違うものを比較することで、純粋な言葉の意味だけでなく時代背景の手がかりを得ることができます。



こうした古いものと新しいものの比較は、書店ではできない図書館での情報探索の特徴でもあります。是非足を運び、見比べてみましょう。

2.3 ウェブ版百科事典の特徴

これまで冊子体の辞典・事典の特徴を見てきましたが、ウェブ上で利用できる百科事典もいくつかあります。冊子体との主な違いは以下の通りですが、やはり良い点・悪い点がありますので、特徴を理解した上で使い分けることが大切です。

冊子体との違い

- 複数の辞典・事典を一括検索
- 全文検索機能や多彩なリンク機能
- 最新情報も掲載されやすい

ウェブ上で利用できる百科事典というと『ウィキペディア』を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。ここでは、ウェブ版百科事典の1つである『JapanKnowledge+』の使い方を解説しますが、まずは『ウィキペディア』との違いについて以下の3つの観点からそれぞれの特徴を見ていきましょう。

ウィキペディアとの違い

①作成者の
明示

②更新頻度

③情報源の
明示

(1) 作成者の明示

『JapanKnowledge+』に収録されている『日本大百科全書』では、それぞれの記事についてその分野の専門家が執筆を行い、その氏名が明記されています。これにより一定の情報質が保証され、責任の所在も明確になっています。

JapanKnowledge+ (例：『日本大百科全書』)

についての細部にわたる指定が行われ、その内容は現在に至るも少しも変更されていない

[梶 龍雄]

誰が書いたのかが分かる

一方『ウィキペディア』では、執筆者の氏名は必ずしも明記されているわけではなく、誰が作成したのか一般的に明らかになっていないものがほとんどです。また、作成された記事も固定されず、後から誰でも自由に編集が可能となっています。これにより『ウィキペディア』の記事には、非公式な情報が掲載されていたり、複数の観点が入り乱れていたという特徴があり、興味深い情報が得られる可能性がある一方、『JapanKnowledge+』の『日本大百科全書』に比べると、情報の質と信頼性という意味においては、十分な注意が必要になってきます。

(2)更新頻度

『JapanKnowledge+』に収録されている『日本大百科全書』では、定期的に記事が更新され、ある程度新しい情報も随時盛り込まれていきます。

JapanKnowledge+ (例: 『日本大百科全書』)

JapanKnowledge ニッポニカ・アップデート 定期的 (月1回) 日本大百科全書(ニッポニカ)[2012年4月更新] 新規:13項目 / 改訂:1033項目	2012年4月26日 日本大百科全書(ニッポニカ)を更新しました! 『小倉百人一首』、石川県の名所・旧跡、食材、原子力、物理、工業などの写真・図版210点を新たに収録。 ■ 日本大百科全書(ニッポニカ) ■ ニッポニカ・プラス
--	---

一方『ウィキペディア』は、スポーツイベントの結果や発生直後の事件など、数時間あるいは数分単位で頻繁に更新される場合もあれば、作成後数年間更新がない記事も珍しくありません。情報の鮮度は項目ごとに異なりますので、注意を払う必要があります。

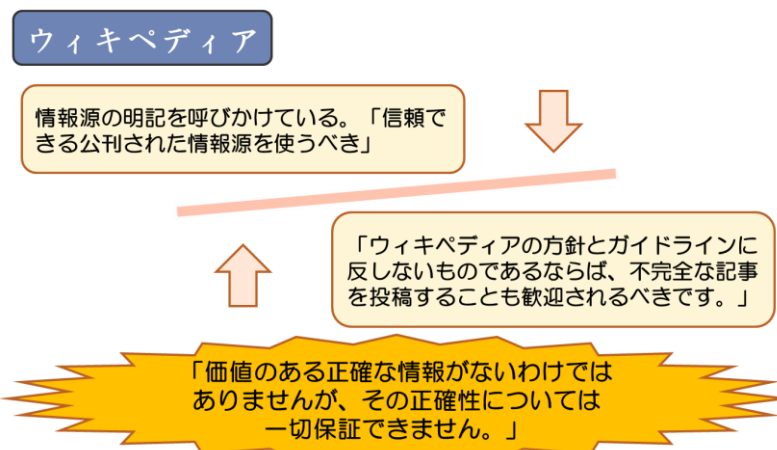
(3)情報源の明示

『JapanKnowledge+』に収録されている『日本大百科全書』では、執筆者が記事作成の参考にした文献情報が明示されており、関連する情報の収集や内容の再確認などを容易に行うことができます。

JapanKnowledge+ (例: 『日本大百科全書』)

底本がある ※底本: もととなる本。 参考文献の記載がある	参考文献・音響映像資料: ■ 『ノーベル賞文学全集』26巻・別巻1(1972・主婦の友社) ■ 中村誠太郎・小沼通二編『ノーベル賞講演物理学』全12巻(1980・講談社) ■ H・ズッカーマン著、金子務監訳『科学エリート』(1980・玉川大学出版部) ■ 科学朝日編集部編『ノーベル賞の光と影』(1981・朝日新聞社) ■ 清川徳二編『ノーベル賞名鑑』(1999・名鑑社)
コンテンツ情報 底本名 日本大百科全書 / 小学館 書籍版刊行日 第1巻～第18巻:1994年1月1日 第19巻～第25巻:1994年1月20日	

一方『ウィキペディア』は、情報源の明示についてはあえて曖昧な立場を表明しており、出所が不明瞭な情報も掲載されています。その情報は、情報探索の1つの手がかりとしては有用であっても、レポートを作成する上では、読み手に正確な情報を伝えるために必ず他の情報源での確認が必要になります。



(4) 『JapanKnowledge+』の使い方

『JapanKnowledge+』へのアクセスは、東北大学附属図書館のホームページ左側にある「データベース・ツールインデックス」から行います。

東北大学附属図書館が契約しているデータベースや有用と判断したウェブサイトのリンク集です。

タイプ別リスト「辞書・事典」をクリック!

以下は、『JapanKnowledge+』に収録されている辞典・事典類の一覧です。これらを一度の検索で横断的に検索が可能で、不要なものは検索対象から外すことも可能です。

OneLookコンテンツ

- コンテンツ案内を見る
- 個別ページにジャンプします。
- すべて選択
- すべて解除
- 百科
 - 日本大百科全書(ニッポカ)
 - ニッポカプラス
- 日本語
 - 日本語大辞典
 - デジタル大辞泉
 - 字通
 - 教え方の辞典
- 歴史
 - 誰でも読める日本史年表
 - 江戸名所図会
- 英語
 - ランダムハウス英和大辞典
 - e-ブロンズ英和辞典
 - ブロンズ和英辞典
 - Encyclopedia of Japan
 - コビルド米語版英和辞典
 - CAMERIDGE英英辞典
 - 理化学英和辞典
 - 医学英和辞典

ヨーロッパ言語

- ポカプロ独和辞典
- ポカプロ仏和辞典
- ポカプロ西和辞典
- ポカプロ伊和辞典
- 羅和辞典
- ポカプロ独辞典
- ポカプロ仏辞典
- ポカプロ西辞典
- ポカプロ伊辞典
- 和羅辞典
- 東アジア言語
 - ポカプロ中日辞典
 - ポカプロ韓日辞典
 - ポカプロ日中辞典
 - ポカプロ日韓辞典
- 用語・情報
 - 情報・知識 imidas
 - 現代用語の基礎知識
 - 会社四季報(2013年3集夏号)
 - 法律用語辞典(第4版)
 - デジタル大辞泉プラス

人名・文化

- 日本人名大辞典
- JK Who's Who
- 世界文学大事典
- 日本人物文獻目録 New
- 新版 日本架空伝承人名事典 New
- 新版 能・狂言事典
- 新版 歌舞伎事典
- 科学
 - デジタル化学辞典(第2版)
 - 法医学辞典
 - マルチメディア
 - マルチメディア
- 記事・コラム
 - 週刊江コピスト
 - 日本の論点
 - NVA:アジア&EU 国際情報
 - 平成ニッポン生活便利帳
- 書庫・URL
 - 東洋文庫
 - 新編 日本古典文学全集
 - 文庫ケセジ バストセレクション
 - ニッポカURLセレク

一度の検索で複数の辞典・事典を確認できます。

キーワードを入力して検索を行い、結果の一覧から見出しをクリックすると、詳細な内容を確認できます。詳細画面では、関連項目や文献情報も利用可能です。

The screenshot shows the search results for 'スポーツ' (Sports). The search bar at the top contains 'スポーツ' and the search button is highlighted. Below the search bar, there are four search results listed. The first result is '1. スポーツ(日本大百科全書(ニッポカ)見出し自体)' and the second is '2. スポーツ(日本国語大辞典見出し自体)'. The third result is '3. スポーツ[sports](デジタル大辞泉見出し自体)' and the fourth is '4. スポーツ(プログレップ和英中辞典見出し自体)'. A red box highlights the search bar and the search button. Another red box highlights the first search result. A third red box highlights the '関連項目' (Related items) section on the right side of the page, which lists '1. アマチュアリズム'. A fourth red box highlights the '参考文献・音響映像資料' (References and audio-visual materials) section, which lists several books and articles related to sports. A callout box with an arrow pointing to the '関連項目' section contains the text: '関連するデータや項目、参考にした図書などの文献情報も確認することができます。' (You can also check related data and items, and bibliographic information of books referred to).

「Knowledge Searcher」という機能を使うと、選択したテキストで自動的に再検索が行われ、その結果が表示されます。解説の中に分からない言葉が出てきた際は、この機能を使ってその都度意味を確認するようにしましょう。

The screenshot shows the 'Knowledge Searcher' feature in the JapanKnowledge+ interface. A red box highlights the 'Knowledge Searcher' button. A callout box with an arrow pointing to the button contains the text: 'テキストを選択するだけで、ジャパンナレッジの検索結果が表示されます。' (Simply by selecting text, the search results from JapanKnowledge+ are displayed). Below the button, there is a checkbox labeled 'Knowledge Searcher を使用する' (Use Knowledge Searcher) which is checked. The background shows a search result for '野見宿禰' (No-noji) from the '野見宿禰(のみのすね)の伝説' (Legend of No-noji) section.

なお、『JapanKnowledge+』では、複数の辞典・事典を収録しているため、表記のゆれが存在します。思うような結果が得られない場合は、キーワードを再確認しましょう。

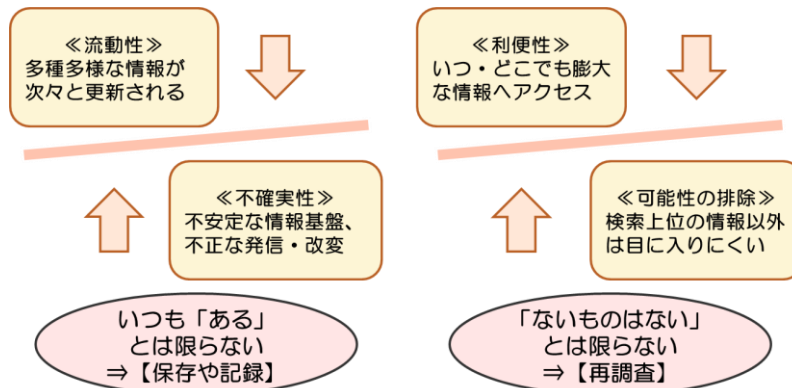


2.4 インターネットの特徴

インターネットは、何かを調べるツールとしては有用ですが、レポートを作成するにあたっては注意すべき特徴がありますので、以下の3つの観点から見ていきましょう。

(1) インターネット情報の性質を知る

インターネットの情報は、流動性が高いために失われやすく、利便性が高いために安易な判断が下されやすい性質があります。

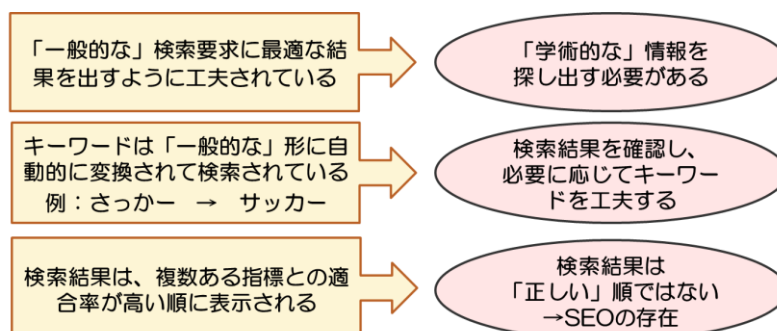


従って、能動的に情報収集に関わる姿勢が必要になってきます。完全ではありませんが、以下のようなアーカイブサイトなども活用し、必要な情報を集めましょう。

WARP http://warp.da.ndl.go.jp/
国立国会図書館が行っているインターネット資料収集保存事業のサイトです。国、自治体、国公立大学などの公的機関のウェブサイトや、学会、各種イベントの実行委員会などのウェブサイトが収集・保存されており、閲覧することができます。
The Internet Archive http://archive.org/
アメリカの非営利団体がすべての知識への普遍的なアクセスを目標として運営しているサイトで、インターネットで公開されている全世界のウェブ情報を収集・保存しています。「Wayback Machine」にURLを入力すると、1996年以降に収集されたウェブページを日付ごとに見ることが出来ます。
Google キャッシュ
検索結果一覧に表示される「キャッシュ」リンクから、Googleが最後にインデックスに登録した時点で表示されていたウェブページを閲覧することができます。
IIPC http://www.netpreserve.org/resources/member-archives/
ウェブアーカイブの国際連携を目的とした組織である、国際インターネット保存コンソーシアム (International Internet Preservation Consortium) のサイトです。世界各国で提供されているアーカイブサイトが紹介されています。

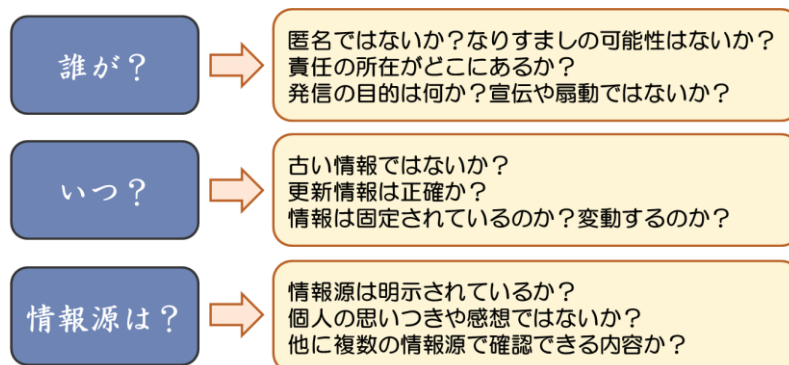
(2) 検索エンジンの使い方を知る

何気なく使っている検索エンジンですが、検索結果はアルゴリズムによって選ばれています。そのことを「意識」した上で、情報探索を行いましょ。



(3)情報を見極める目を養う

インターネットには、言語や国境の壁を越えて多種多様な情報が混在しており、その真偽を見極めるために、様々な角度から情報を吟味する必要があります。残念ながら確実な方法はありませんが、質の高い情報に数多くふれるなどして、自らの力を養いましょう。



情報の信頼性を判断する 1 つの基準として、以下のようなドメイン名から判断する方法があります。これも確実ではありませんが、覚えておくとよいでしょう。

用途	種類	登録対象
企業・商業	.com .co.jp	世界中の誰でも登録可能。 日本で登記された外国会社を含む会社、信用金庫、信用組合。
ネット関連	.net .ne.jp	世界中の誰でも登録可能。 日本でネットワークサービスを提供している企業及び個人。
組織・法人	.org .or.jp	非営利組織用。世界中の誰でも登録可能。 財団法人、社団法人、公的な国際機関の日本支部など。
教育機関	.edu .ed.jp .ac.jp	アメリカ教育省公認の認定機関から認可された教育機関のみ。 幼稚園、小学校、中学校、高等学校など。 国立大学法人、高等専門学校、大学共同利用機関法人など。
政府機関	.gov .go.jp	アメリカの連邦政府機関や関連組織のみ。 日本の政府機関、省庁所轄研究所、独立行政法人、特殊法人のみ。

『Google』でのドメイン制約検索
例：「サッカー site:go.jp」→日本の政府機関に限定

信頼できる機関等によって作成されたリンク集を活用するのも、1つの手段です。安易に信用するのは危険な場合もありますが、効率的に情報探索を行うことができますので、活用してみましょう。

データベース・ツールインデックス http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/newdb/ 東北大学附属図書館が契約しているデータベースや有用と判断したウェブサイトのリンク集です。現在185件の登録があり、分野別やタイプ別に一覧することができます。
JapanKnowledge+ ニッポニカURLセレクト http://www.jkn21.com/ 日本大百科全書の改訂チームが、実際に参照した有益なウェブサイトのデータベースです。収録数は3,000項目にものぼり、独自の紹介文が付与されています。
リサーチ・ナビ http://rnavi.ndl.go.jp/ 国立国会図書館が情報探索に有用であると判断した図書館資料、ウェブサイト、各種データベース、関係機関情報が、特定のテーマ、資料群別に紹介されています。
Dnavi http://dnavi.ndl.go.jp/ 国立国会図書館がウェブ上で公開されている国内のデータベースの情報を集めて作成したデータベースです。登録数は約1万7,000件で、タイトル、作成者、分類、内容説明等で検索することができます。

3. 確実なスタートへ

3.1 スタートの準備

レポートを作成するにあたって、まずは「良い」レポートを書くことを明確に意識しましょう。そのために読んでもらう読み手の存在を意識し、読み手の理解や満足のために丁寧な情報探索を行い、その結果を参考文献リストに明示しましょう。

「良い」レポートにするために

- 読者を意識したレポート作成と情報探索
- 信頼性のある情報の収集と明示

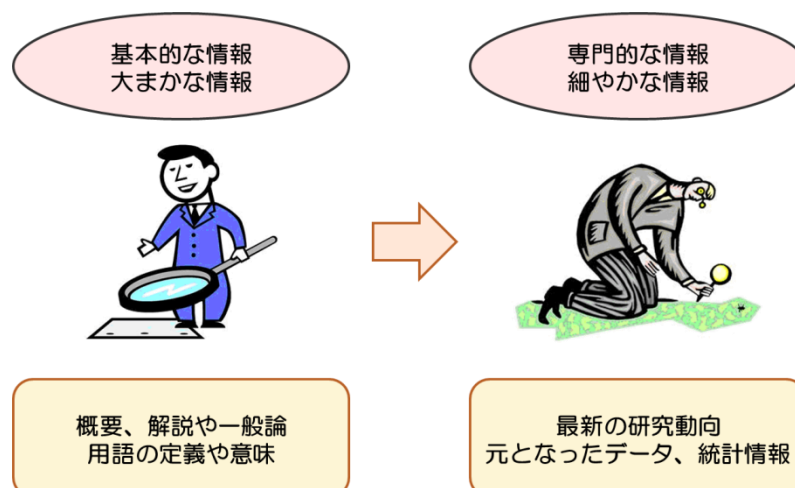
読み手の理解や満足につながる丁寧な情報探索を行うために、まずは自らの基礎知識を固めましょう。辞典・事典、ウェブ版百科事典、インターネットなど、事柄を調べるツールはたくさんありますので、それぞれの特徴を理解し、適切に使い分けましょう。

事柄を調べるために

- ツールの特徴の正しい理解
- 必要に応じた使い分け

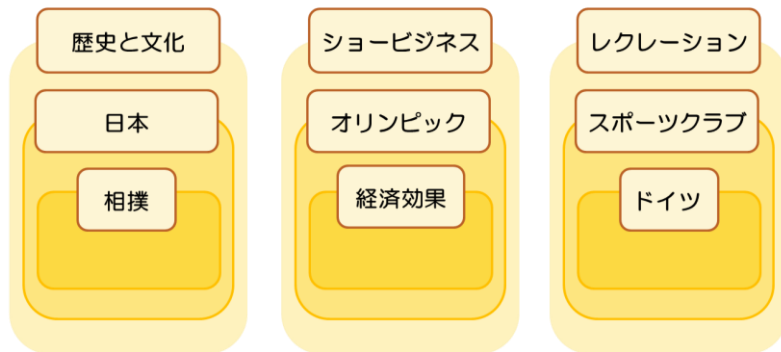
3.2 効率的な情報探索

次の章から図書や雑誌論文など、さらに具体的な情報探索の方法について解説していきますが、効率的に情報探索を行うために、「大から小へ」という基本を押さえておきましょう。基本的な知識が不足していると、的を射た精度の高い情報になかなか辿り着くことができません。まずは、基本的な情報を丁寧に収集し、基盤を固めることが重要です。



3.3 テーマの具体化

良いレポート作成のために、情報探索と同時にテーマの絞り込みも必要です。以下は、スポーツの例ですが、定義や概要を確認したら、1つの側面に注目し具体化しましょう。



3.4 高みを目指して

以下は、「高校生」が作成し国際専門誌で発表した英語論文です。世界への道は皆さんにも拓かれています。ただ単位を取るためだけでなく、より高いレベルを目指してレポート作成に取り組んでください。

2009年7月
高校の実験室で発見！

↓

「科学者の卵」へ参加
東北大学附属図書館で文献調査！

↓

2011年8月
高校生バイオサミット in 鶴岡で
科学技術振興機構賞を受賞

↓

2011年11月
国際専門誌で英語論文を発表！

特異な銀過氧化物 “Ag₂O₃” の抗菌、殺菌特性とその有用性

Journal of Materials Science
Volume 47, Number 6 (2012) に掲載
(<http://link.springer.com/article/10.1007/s10853-011-6125-0>)

従来の10倍の抗菌効果を 1/100のコストで！
→世界中の研究者に読まれ、企業からの引き合いも

電子ジャーナル画面
(SpringerLink)

本文PDF

参考文献

- 1) 酒井聡樹. これからレポート・卒論を書く若者のために. 共立出版, 2007.
- 2) 酒井聡樹. 平成 25 年度東北大学全学教育科目『『レポート力』アップのための情報探索入門』第 2~4 週配付資料. 「レポート作成法①~③」.

第1章 実習問題

事柄

問題 1. レポートの執筆を念頭に置きながら、自分の「関心のあるテーマ」について記入してください。また、テーマに関する適切な「キーワード」を考え、記入してください。次に、そのテーマに関連する基礎知識を調べてください。

■ 関心のあるテーマ：

■ キーワード：

■ 調べて分かった（面白いと思った）こと

◇ 『JapanKnowledge+』から

内容	掲載コンテンツ名

◇ ネット情報から

内容	サイト名／作成者名／更新日
	URL :
	URL :
	URL :

◇ 辞典・事典類（冊子体）から

内容	書名／出版社名等	所在	請求記号